

Correspondence

研究会報告 高分子加工技術研究会の活動状況

岡本 正巳*
豊田工業大学大学院工学研究科

(原稿受理：■年■月■日)

1. はじめに

高分子加工技術研究会は高分子の科学と工学との学際的研究を行なう目的で、1988年4月に設立され、今年30周年を迎えることとなった。1989年4月に Polymer Processing Society (PPS)-5 を京都で開催するにあたり、その前段階として国内の高分子加工に関係する研究者・技術者の議論の場がないことから、本研究会は名古屋を拠点に活動を開始した。初代の主査は永澤満先生であり、その後、故升田利史郎先生、高橋秀郎氏、そして高橋清久先生と引き継がれて、私が5代目の主査となる。

研究会例会を年2回(3月と6月)開催しており、2019年3月に工学院大学で開催予定の例会(主題: AI と高分子)が第90回となる。くわえて、高分子加工技術討論会を年1回、名古屋市工業研究所にて2日間にわたり開催しており、今年で30回に至っている。

2. 第30回高分子加工技術討論会記念大会

第1回高分子加工技術討論会は1989年11月6、7日に実行委員長永澤満先生のもとで開催された。参加者約200名と1会場では入りきれない程の盛況であったと聞いている。本討論会は着実に継続され今回30周年の記念大会を迎えることができた。討論会では毎回特定セッションを設けて時流に先んずる研究者に招待講演をお願いしてきた。30年間の時代の流れに対応して特定セッションの内容も随分と変遷し、研究対象も幅広いものとなっている。

今回の記念大会の招待講演では、高分子の成形加工と構造・物性の発現を長年にわたって研究されてこられた横井秀俊先生(東京大学生産技術研究所)、鞠谷雄士先生(東京工業大学物質理工学院)、そして高橋雅興先生(京都工芸繊維大学名誉教授)から講演を伺った。3名の先生は本研究会の幹事として長年にわたって運営にご尽力いただいております。

周年に相応しい講演であったと参加者とともに感じる事ができた。また30周年を記念して本討論会のさらなる活性化をはかるために、学生を対象とした優秀発表賞を選定し2名の学生に賞を授与することもできた。

3. おわりに

これまでに多くの研究者や運営幹事とともに本例会・討論会の使命を堅持し、これまで発展に貢献できたことを光栄に思います。そして本研究会例会と討論会にこれまで参加いただいた方々、学生諸君に感謝の意を表わすとともに、広告掲載を毎回快く引き受けていただいた企業の皆様にお礼を申し上げます。

今後も、従来の研究領域の枠組みにとらわれない、新興の研究を発表する場となるように、運営幹事一同努力を続けていきます。レオロジー学会会員皆様のご指導とお力添えをお願いいたします。



Fig. 1 第30回高分子加工技術討論会記念大会集合写真(懇親会)

* 豊田工業大学
〒468-8511 名古屋市天白区久方二丁目12-1
E-mail: okamoto@toyota-ti.ac.jp

